

今までの「新城市自治基本条例を考える市民会議」で出された意見等【市民参加・情報版】

市民 会議	皆さんの質問・意見		資料 1
1		自治基本条例＝市民協働のまちづくりかな！？ 市民への情報提供説明の方法仕組み、うまくやっている市町村があれば教えてほしい。 さまざまな人の意見を聞く場をつくる（市民活動をしている人々を含めて市民の参加の具体的な方法は？例：市民委員会なら選出する方法は？職業を持った方への対応は？ 法人の声、参加の仕組みはどのようにすればよいか？	
2	様々な市民の声を聞く	水平的関係を大事に！ 上から目線（行政・議員）（男性） 地区住民意見集約した 集落再編他 若い人たちの意見をいつの時点で提案してもらうか 意見交換の必要な団体 年代別に幅広く 地域担当制と連携し、地域との議論を行う。 地域に出かけ、生の声をつかむ 生活の形態を同じくする人たちの集団（職場とか学校とか） 子育て中の母親集団 区長会 生産組合長 連携 議員と連携	
	住み続けたくなくなるまち	安全なまち犯罪、交通事故のない安全なまち 地域住民が一つになってきまりや約束を守る地域づくり みんなが参加できる。 昔から住んでいるところだから ・地域住民とのふれあい～あいさつ等 ・地域住民の中心となり？（現在区長） いろいろな面で活動安全なまちづくり ・大勢の人が参加できること。 イベント等ふれあい 友達や知り合いをたくさん作りいろいろな情報を共有したい。 コミュニティ組織などの団体で地域や人のためになるボランティア活動をして地域のつながりを作りたいと思う。 していること→通勤途中のゴミ拾い。 できること→行事等に参加する。 やりたいこと→情報発信 共に話し合える場所へ チャレンジ精神 自分ができること 活動などに参加する。 大きい街はまとまらない、小さな街だからまとまりが良い。 情報をうまく分かりやすく出す。（←人との交流） 女性が参加しやすい場所づくり 移送。 ①できるだけ広く多くの人とのかかわりを持つ ②相手の立場、考え方を理解するよう努力する。 ③あいさつをする。 仕事との両立は大変ですが地域の活動には率先して参加している。 集落の祭典の内容を変えてみたい。（長男、長女等子供を呼び寄せる祭りにしたい） できる限り集落などに出る。 地元の人たちとの交流の機会を増やし、顔を覚えてもらう。 新城が一つになれるようなイベント？ 朝出会った子供には必ず「オハヨウ」と声をかけている。時間があれば少し話をする。 郷土の祭りに関心があるので、少し関わっている。 人生楽しく楽しく 隣近所との付き合いはできる限り参加している。 仕事がひとくぎりついたら、家の畑を少しでも手入れしていきたい。	

市民 会議	皆さんの質問・意見	資料 1
4	<p>私たちができること</p> <p>イベントやお祭りなどの行事 出合いの会をしたい。</p> <p>地区の行事や奉仕作業への参加 あいさつはみんなに（特に子どもに） 市内のこと、なんでも協力できることは協力したい。</p> <p>子供たちにも新城に住んでもらいたいと少なからず思っているため、ここ（新城）でしっかりと父親をしているつもり。 これからはしっかり「父親」していきたい。 今日は舟着小学校のPTA役員やっています。 いろいろな行事に参加しています。これからは参加していきたい。 <u>子どもと一緒に楽しくいろいろな行事に参加</u></p> <p>行政区の行事に参加 市、その他（お祭り）の行事に参加 地域活動にできるだけ参加していく 隣同士（近所）での声かけ（あいさつ） 市内の歓楽街がなくならないように協力している。 地区での行事には極力参加している（コミュニティー、祭、消防）。 （地域住民との交流・情報）</p> <p>地元祭礼への参加（子どもの余興関係） 体育振興会に所属し、住民交流の促進 おやじの会に所属し、学校、子ども、地域との交流 すねえもんマラソン（岡崎城→長篠城）へ参加 第2回駅横で行われる「フォークなひととき」出演</p> <p>地区の店を利用する（薬局、電気屋、食堂）。 皆が参加できるイベントを考えている（体振）。 地区行事参加</p> <p>自分自身が新城市について勉強する事、それを町づくりに興味のない若者に伝える 消防団・祭礼に参加する。</p> <p>病気になっても自宅になるべく住んでいられるように、又介護できるように支援すること 他の市民の方の意見や思いを聞けるような会への参加</p> <p>地域の行事、団体への参加 地域活動（コミュニティ活動） シニヤソフト（地区のチームに参加） 放下保存会の活動</p> <p><u>環境整備、花いっぱい運動緑化運動に参加</u> <u>地区の役をやれる限りやっている。</u> <u>安心して住めるように</u> 話をしよう。交流しよう。 参加しよう。いつも笑顔でいよう。 <u>良い環境づくり（花いっぱい運動）</u> 地区行事への参加 ボランティア活動への参加</p>	
	<p>市民個々の力を集めるための戦略 （行政と市民の思いがひとつになるための）</p> <p>地域のカ・集まり（区、組）をお互いに尊重し、育て合うこと（自治権？） →そういう市の仕組みを作る事。 地域の集まりに予算と責任を与え自治を深める事 意見を言いやすい場が作られている所に向いて意見をすい上げていけるといい。</p> <p>課題を出し合い、解決に向けて話し合えるシステムづくり、また解決に向けて連携できるネットワークづくりが大切である。</p> <p>地域担当制をもっとうまく利用して情報の吸い上げ発表をする。→若い世代ももっと利用する。 色んな世代の声を吸い上げる仕組み。</p> <p>行事・イベントへの積極的参加 社会基盤のさらなる強化 <u>情報化の推進</u></p>	

市民 会議	皆さんの質問・意見	資料 1
	<p>思いや力を活かすために必要なこと</p>	<p>自然や心のふれあいをネタにした参加のできる活動                  まず生活の安定                  参加の仕組                  評価の仕組                  課題共有                  無理のない仕組                  地域資源（人、もの、発見）                  行政、民間グループ、議会等立場を異にする人が「実はさあ」と「悩み」を共有していけること                  他人事としないで自分達のこととして考えていけるようになること                  このような会を使って市民の声を聞く                  このようなイベントを積極的に開催する！                  話の出来る歓楽街を活性化する                  地区にカフェを作ろう                  情報、知識の共有                  ↓                  一体化へ                  市内他の地域のことを知る。                  自慢できることを増やす。                  市民と行政が協力してしんしろへの思いを実現するシステム作り                  ①未組織小組織の人々の意見や考え方を吸い上げる「仕組み」を再構築する。                  ②交流を盛んにする（地域行事を見直す）。                  ③あいさつ運動を起こす。                  隣り近所のコミュニケーションがとれた安心して生活できる街を作るため、市民（地域）と行政（限られた財政のため）が共にアイデアを出し作り出していく必要がある。                  小さな市でも良いから自分の好きなこと、やりたいことから始める（仲間づくり）。                  個人→仲間→地域→市                  地域が元気になるため、地域の活動にみんなで参加（お互い顔が分かり話ができる）                  お祭                  交通の確保                  若者が帰ってくる町                  地域活動への参加                  市役所の方などまずまわりの方と知り合いになり、その輪が少しずつ広がって欲しい。                  住民の力を活かす特区！                  新城の良いところ（自然・文化等）再確認する。                  誰もが参加でき楽しめる（子供から老人まで）イベント等を開催し活力ある市づくりを行う。そのためには地区が元気でなければいけないと思う。                  新城の良いところ（自然・文化等）再確認する。                  誰もが参加でき楽しめる（子供から老人まで）イベント等を開催し活力ある市づくりをおこなう。そのためには地区が元気でなければいけないと思う。                  地域に関心を持つこと                  行政とのコミュニケーションをする。                  1年にもう1度開いて                  市民大会をひらこう</p>
6		<p>イベント                  行事に参加する                  なんでも参加する                  意見を言う場が少ない。                  あってもそことまりか                  情報を共有する                  市民と行政が意見交換できる場がある事                  情報の共有</p>